第六百十三號　（日曜木）　夕刊　いわき民報　昭和二十三年五月十三日

いわき民報

平市田町四八番地電話三一番
発行人兼編集人　千葉巳克
印刷人
日刊　但月曜を除く
定價一部九十錢　一月廿五円
発行所
社報民報いわき

新川改修繼續に決る

本年度豫算は二百四十万圓

平市南方田圃の新川改修工事は豫算關係で二ケ年も中斷し、一部改修された河が尻切れトンボと成つているため、出水時には反つて水害の危險にさらされていたが、本年度豫算二百四十万円で繼續着手する運びとなつた

今年の工事個所は飯野村地内縣道筋から下流八百米の堤防築造で明年も引續き單年度豫算を計上完成を急ぐことになつた、工事は平土木監督所の直營で行うことになつをいる

現教育實情移動展を

教組平市部大會での決定事項

教員組合平支部大會は十一日午後二時より磐城女子高校講堂に開き本年度豫算斗爭方針について協議した結果、現教育の實情を大いに宣傳することになり十五日から三日間驛前銀座通り、本町通りの三ケ所で移動展を開く外、百五十枚のポスターを市内各所に貼付けることになつた、なお千八百円ベースから二千五百円ベースに切上げとなつた際教官は千八百円を基に約十七割の増俸になつたが事務官は十五割で増俸になつたのみ不均衡なのでこれを教官並に引上げるよう促進運動を起すことも申合せた

炭鑛緊急調査會

年間一万トン以上の炭鑛を對象にし

平石炭局では十二日午前九時から本社ホールに炭鑛緊急調査會を開き、大正九年以降年産一萬トン以上の各炭鑛に於ける年間出炭量、鑛業權の合併、分解、新鑛開發等の諸問題に就き石炭廳から小岩井技官内丸事務官等臨席のもとに官内三十炭鑛代表も集まり協議打合せたが二十日ころまでに調査を開始する事になつた

岡本陸運部長實地調査

湯本石川省營バス東鐵岡本陸運部長等の一行は十四日湯本町に來り、湯本、石川間の省營バス七十五キロの實地調査を行う、なお全路線は去る一月から一先づ省營トラックだけの運轉を開始しているものである

平市消防の施設援助

隣接町村からの十五万円を醵出

十一日市主催の隣接町村長並に消防團長の消防施設充實について開いた懇談會の結果は平市の施設費に十五万円の援助金を醵出することに決定した各町村の負擔金額次の通り

◇内郷五万円◇好間四万円◇赤井二万円◇神谷二万円◇飯野二万円◇小川二万円

湯本町民生委員會

湯本町民生委員會は十三日午後一時から開かれるが子供會發會の件、幼稚園の選足等其他數件を協議する

濱通り高校野球大會

平工高校の創立記念日をとして

平工業高校では十四日が創立記念日に當つているので午前八時四十分から記念式を擧行し續いてPTAの總會を開く、なお十時からは磐城、双葉、原の町、平工各高校の野球大會を開く豫定

砂糖配給十四日ころか

須賀川倉庫から六四二袋發送

平食糧公團では十一日本部から通知があり須賀川町の砂糖倉庫から一四七、八キロ入六四二袋が十二、三日に平向け發送されることになつたので糧姿が順調ならば十四日から配給される、なお本月下旬になれば四日分として一日半分の砂糖が配給されることになる旨の通知があつた

二十一日分か、お米配給

麥二日分に放出粉も二日分入る

本月分の主食配給は四日分の砂糖の配給と市内だけ政府割當ての麥二日分強既放出粉三日分でのこり二十一日分の米の配給となつている、郡部は目下麥の配給はなく放出粉が配給されている

濱通り高校雄辯連盟

十六日原町高校で

平市及び石城、相馬、双葉一市三郡下の高校は今度濱通り高等學校雄辯連盟を結成するに決し、十六日午前十時半から原町高等學校内で結成大會を開く

湯本校敷地

十三日入札

湯本町舊校舎敷地處理委員會は十二日午後一時から役場會議室で開かれ十三日午前九時から入札することになつた

春蠶の掃立開始さる

桑葉の發育も順調に恵まれる

石城郡下の春蠶掃立は例年より一日早く今十二日小川、赤井方部を皮切りに明十三日からは平方部の平擔地を始め上遠野、勿來方部も開始一番遅い川前は二十八日ころの豫定今度は桑の發育も良く例年より二、三日早いので桑不足の心配もないし更に目下の蠶籍害の恐れもなく順調なので春蠶月標一万四千貫の確産は出來得る見込みである

本炭配給

六月分前渡しも値上控え準備中

市では十一日から五日分木炭を全市一齊に行つていたが丁度入荷期を控えているので今後の木炭搬出が困難になる豫想があり更に近く値上げもある見込みなのでこれと睨合せ六月分も今月中に前渡すべく入荷促進に努めている

第一校建築監督委員會

平第一小學校々舎建築監督委員會は十二日午後一時より公會堂日本館に開き建築監督について協議する

常磐線で列車に發砲

乘客二名がガラス破片で輕傷

十一日夜八時ころ原の町發常磐線上り二四四列車が磐城太田驛を發車して間もなく突然ピストル様のもので列車目がけて發砲したものがある、最後部から二輛目の客車右側後部席から二番目の窓ガラス直經八ミリ程のあなをあけて、窓邊にいた乘客の福島市八劍中教員北原操氏（五〇）が鼻下に、富岡町佛籌字前川佐藤享子さん（二三）が右眼にガラス破片で輕傷を受けたのみで幸に他の乘客には被害なかつた、乘務車掌佐藤成典君の談によると、全地點は磐城太田、小高間の高さ七、八米の崖つぎで兇行には絶好の地點であるという

硫安と米の物交で

日本水素庶務課長渡邊農會長等が

小名濱町日本水素肥料工場庶務課長池津大平（四七）は薄冬從業員の飯米不足を補うため大井川正巳縣議の世話で、全町汐留町青果物商崎村清（二九）全松の中農松本秀一（二四）と硫安四十俵と米二十五俵を物交、崎村及び松本はこの肥料を渡邊村農業會長水野直記（五二）と米一十五俵及び十二萬円とで物交々水野は全村松小屋農水野良一ほか四名に硫安七十俵を賣るとて内金八萬六千円と米一十五俵を受け取つていたこと發見、十一日植田翼から食糧管理法肥料配給規則違反、作欺罪で送檢された

衣類
書畫
骨董
貴金屬
高價買入
平市南町
中央會館
電九一五

精神科
内科
平市搦
田小路
新田目醫院
電15

衣料品
呉服と洋品と化粧品と有名と小間物
雜貨　レコードと樂譜樂器と
附類屬雜誌
平市四丁目　電268電
山吉商店

日本水素に遂に飛火

村井課長更迭

仕入主任もヤリ玉へ

農業會石城支部生産課長村井忠（三八）の肥料統制違反事件は遂に小名濱日本水素工場にも發展、九日平警治署の桑名經濟部長等が現地に急行調査すると共に同工場庶務課長池津大平（四七）の仕入主任馬上富氏（四二）の任意出頭を求め取調べ中だが、

いわき寸言

◇酒がまたあがるという、酒とは金もちだけの飲むものになつたのかナ

◇物價改訂でものがまたあがる、大衆は樂落しに落ちたネ

◇公務員や地位利用の悪ふざけはたけばホコリが出るとはよくいつた

後藤守一教授の登呂遺跡解説 ①

史談會員　鈴木光四郎

磐城史談會第七回の例會は五月二日川前中學校に於て考古學の權威であり帝室博物館鑑査官であり明大教授である後藤守一氏の講演をきくことになつた。參會者は山森會長はじめ會員二十名、川前村の有志や學生が千余名であつたはじめて日本に於て實施された、サンマータイムの第一日、吾々はいつもより一時間早く行動を起した。十一時の汽車で川前に向つたが車窓より眺める新緑の磐越沿線は桐桑などの新芽が日に映えて美しい限りであつた。十二時過ぎに川前に着いたが山々には山櫻が滿開であつた。

本日の世話人である川前村の永山德一氏、根本忠孝氏、松本校長の迎えをうけて會場の川前中學校に案内された。開會の挨拶があつた。後藤教授は長い年月の御研究の一端を特に登呂遺跡の重要性について次のように、平易に解説して下さつた。

縄文式文化の人々

日本に始めて住んでいた人々については明かではない。然しその人々が使つて殘したものから縄文式文化の人々であることが解るのである。縄文文式化の人々は十余年前には、コロボックル人と云われていた。コロボックル人は今は滅びた民族であるが、アイヌ人の先祖であるとも云われたのである。日本人の先祖がアイヌ人を滅ぐ北海道に追つやつてしまつたとすることも、誤りであつて縄文式文化の人々が吾々の先祖であるとの見方も起つて來たのである。

日本人の先祖がどこから來たのか、即ち縄文式文化の人々はルから來た說と南から來た說とがあつて一系統に別れて研究が續けられている。かくして縄文式文化の人々は先住民族ではなく日本人の祖先の一部と考えられるようになつたのである。

清潔な明るい街を建設

平市の大掛りな衛生實施方法

市では縣下一齊に實施中の街を明るくきれいにする運動に呼應して次の如く計畫をたて十三日各衛生組合へ通知する

【消毒藥の配布】十六日まで殺鼠劑アンツーを十七日から十九日まで組合代表に市衛生係から入物持參者に乳劑配布

【豫防接種】十九日古物商の發診チブス豫防接種と市内鼠族一齊驅除（殺鼠劑アンツー使用）

【春季清潔法實施】二十日中窪方部、二十一日田町より警察署に通ずる道路を境界として西部、二十二日市の東部地區

【昆虫類發生驅除去】二十四日から三十一日まで下水と塵芥箱の清掃、當日の塵芥、泥土の運搬は二十四日長橋、古研町、紺屋町材木町、二十五日才槌小路田町、二十六日一、二、三丁目、二十七日四、五丁目南白銀、大工町、二十八日鍛冶町、南町、二十九日大町、十五丁目、新川町、三十一日立町、彌宜町、正月町、鐵宮の日割で運搬トラックが巡回するのでこれに合せて實施する

【衛生教育】旅館、喫茶店、外食券食堂、獸魚肉業者、製パン業、冷菓業、生鮮魚介販賣者その他飲食物取扱業者に對する衛生教育を二十八日中保健所と市衛生係主催で開く

【衛生査察】二十九日前記業者の調理場、便所の檢査、公衆浴場、環生活者に對しDDTを撒布する

昨日の獲物

小荷物車の取締り

平地區、自治隣署十一日の小荷物車臨檢成績は左の通り（單位キロ）

◉うるち精米五五件二三八◉大豆九件二六◉小豆四〇件二四四◉うずら豆一五件三八◉濁酒七件一七◉米粉一件五◉小麥三件九◉丸麥一件四◉馬鈴薯五件三二◉加工魚企類三八件四六貫◉葉煙草一件二貫

◇箱論與◇一から一湯本驛

（問）待合室が紙屑やみかんの屑でさんらん？しております、外では制服を着た驛の方が三人で「マリ」投げをやつております、これでは折角の無名氏の答は「カケゴエ」ばかりです。反省をお願ひします。

（答）まことに濟みません、專任の待合室掃除掛を置くわけにもいきませんので時間を定めて掃除しておりますあなたの御覽になつたのは掃除直前の狀態かと思ひますが一層注意を致しまして明朗快適な御旅行が出來る樣努力致します、旅客各位も出來るだけ屑物入れを利用して下さる樣お願ひ致します、附加へて申しますが「マリ」投げをして居ましたのは勞働基準法に基いて職場開放の時間でありましてそれ以外の時間には絶体に致させておりません

給食による効果をみよ

平市四小學校兒童についてみる

白城地方事務所管内の給食校は現在十一校となつているが地方事務所教育課では去年一日以降給食を開始して以來現在で滿一ケ年を經た市内四小學校の兒童を對象に体重測定を行つた結果、四月末日現在で全國兒童体重平均と比較し一年生から六年生まで平均一ルキロ增加しており、石城郡下全兒童の体重平均に比らべても二、〇三キロと增加兒童の將來にはより健康な發育が約束されている、なお身長、胸圍等も順調な發育振りを發揮している、年令的に見た給食兒童の体重の全國並に郡平均との比較は左の通り（單位キロ）

年令	給食兒	全國比增	郡下比增
七才	一、八	一、九	二、一
八才	二、一	一、九	一、九
九才	二、三	一、七	一、三
十才	二、五	一、八	二、三
十一才	二、七	二、二	二、四
十二才	二、九	二、五	二、〇六

不届極まる列車給仕等

埼玉縣南埼玉郡鷲宮町大字葛梅東京鐵道局車掌區勤務列車給仕柴原正雄（二四）ほか五名は共謀資森驛前あたりのマーケットから白米約三俵、小豆一斗を買受けて無造作に炭俵や莚に包んだ上、大膽にも青森發進駐軍專用列車に積み込み十一日午前一時半頃上野驛に來たところを發見されて署へ引渡された

内郷荒しの靴ドロ御用

内郷町大字宮無職菅弘道（一九）―假名―は去る七日全町字宮澤常磐炭鑛社宅勞務係瀧口三義さん（四一）方から革靴やゴム靴など各六足と腕時計並に中古自轉車を盗んだほか三十件余のスリや盗みを働いていたことが發覺十二日内郷署へ

圖太い驛員

小名濱臨鐵小名濱驛出札係柏浦豐（二二）貨物係瀧内正一（二二）全町竹町元全驛出札係石川龜三郎（二三）は共謀去月三十日驛保管中の崎玉驛加須町池田健太郎さんほか一名の衣類へり行李一個（衣類百八點、四萬二千四百円相當）を盗み、この程小名濱署へ轉送十一日午後平區裁判所の中にある司法事務局に湯本町字向田無職小島芳太郎さん（二八）と稱する男が來て曰く

道義腐敗した現在の日本人の氣持には呆れた、こんな國に生れたのが淋しいから日本國籍を拔いて呉れ同局では國籍を拔いてどうするかと質せば無國籍になつてせい〳〵すると云う、そんな事は出來ないとなだめれば新憲法では個人の自由を認めていて俺の自由を聽入れてくれないのかとつめ寄るのに同局でも苦笑していた、これを聞いた隣室の某判事曰く「自由もここまで來ると無動道だ！」

灰皿

水道とポンプ工事
具類用道具と水道用具
機械工具と鐵管繼手
鉛管と鐵管
平市白銀町二電八二
商店
藤浪

特選浪曲競演會

日時　五月十三日午後六時
場所　平市公會堂【日本間】
主催　風戸興行社

浪界の巨人　篠田實
女流浪曲　春乃若葉
浪界の智將　木村重松
浪界の美音家　早川燕平
浪界の名人　東武藏
他若手新鋭數名出演

前賣券 80.00

目種　今泉產業平營業所開設
土木建築請負
一般商品販賣
加工食品各種
營業
今泉產業株式會社創立事務所
本社　石城郡湯本町一九四　電湯本七一
東京營業所　東京都豐島區池袋六ノ一九七六
平營業所　平市南町九電（呼）八七〇

皮膚科
泌尿器科
江尻醫院
平市材木町一二
平東寶座（電一四八）